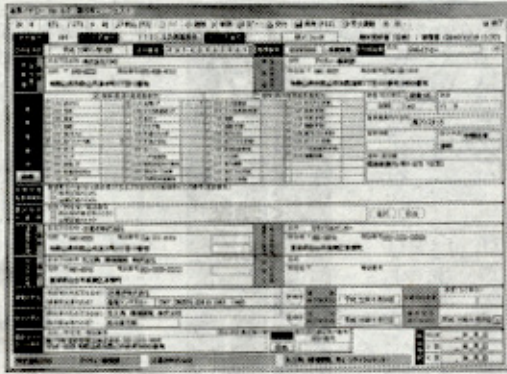


# 産廃管理システムでCSR確立

## エスエムエス 物流会社60拠点に導入



エスエムエス（和歌山市、辻雅敏社長、☎073・435・4111）は、物流業の新開トランスポートシステムズ（東京・江東）に産廃マニフェスト管理システム「産廃イチロー」と「契約書セット」を納入した。現在は、全国約60拠点に導入され、「期待通りの効果を挙げている」と好評を博している。

新開トランスポートシステムズはこれまで、自社開発のシステムで産廃の収集運搬業務を管理していたが、システムの老朽化やメンテナンス体制の維持が困難なことから、外注を検討。▽全国の車両の登録管理・契約書の一元管理▽マニフェストと

マニフェスト  
入力画面

産廃マニフェスト管理システム「産廃イチロー」の入力画面は、紙マニフェストと同じデザインを採用。手書き感覚の容易な操作でデータを作成、印字できる。契約書セットと併用すれば、契約書や帳簿の一括管理で業務の効率化だけでなく、行政報告書取りまとめ等のCSRを確立することができる。

エスエムエスでは、その他、販売管理システム「産廃キック」や

廃棄物の受入および計量機連動操作システム「産廃シロー」などを展開。これまでに導入済み顧客数は約1500件に上る。

辻社長は、「これからも顧客の目線でニーズに応えた商品開発を進め、低価格での提供を目指す。導入後は、サポートに万全を期す」と話している。